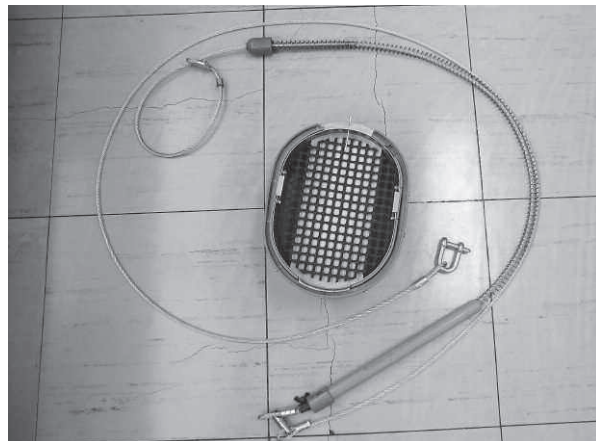


おかもと  
**岡本** まりこ  
**真利子** 議員

## 有害鳥獣被害対策について

近年地球温暖化の影響か、有害鳥獣による農作物を食い荒らされる被害が多発している。本町においても90%がシカによるもので、約7千万円の被害になる。そこで、シカの駆除に関して、次の点について伺う。

- ①捕獲機のひとつである「くくりわな」の設置状況と個数について。また、年間捕獲数について伺う。
- ②猟友会、ハンターに対する報酬等を見直す必要があるのではないか。また、農家との意見交換会を実施しているか伺う。
- ③シカの侵入対策について、現在農家では臭いによる方法、爆音機、そして電気による方法とそれぞれ自衛策が採られているが、個人ではなかなか難しい侵入対策であります。地域に対しての対応策、助成など、効果が上がるような取り組みを幕別町として検討されているか伺う。



くくりわな

**町長** ①くくりわなの設置状況について、ゆとりみらい21推進協議会では、くくりわなを100基保有している。そのうち90基を18人の生産者に貸し付けして、それぞれの圃場周辺に設置している。残りの10基は、駆除の依頼に基づき、町の職員や駆除作業員が出没現場に設置をしている。

また、年間の捕獲数は、昨年度は、9月から11月までの3カ月間の設置で4頭の捕獲。本年度は現在までに10頭の捕獲実績である。

②ゆとりみらい21推進協議会が有害鳥獣対策に係る協力補助金として、猟友会幕別部会に約10万円を交付。町がハンターに対してシカの駆除1頭当たり5000円の報酬金を交付している。

見直しについては、昨年、増額について協議をさせていただき、猟友会の会計上、現在の補助金額で収支の均衡が図られていることから増額の必要はないという回答を得ているため、当面は現在の金額を維持する考えである。

報奨金は、現在、広域連携も含めて全道的に検討が進められているため、今後の動向を見きわめながら、全体的な鳥獣被害対策の中で見直しを検討していきたい。

有害鳥獣に関しての農家との意見交換会は実施いたしていないが、被害状況の把握のアンケート調査の中で、情報収集、要望調査も行っており、また、くくりわなの説明会、研修会、JAの地区懇談会の中で情報や意見などを聞き、それらを踏まえて、鳥獣被害対策を講じているところである。

今後も、あらゆる機会を通じて情報収集に努め、関係機関や、農家の皆さんも含めて、地域一丸となって対策に取り組んでいきたい。

③有害鳥獣対策に係る経費をゆとりみらい総合資金貸付金の対象としているが、効果が短期的等の問題があり、喫緊の対策として、侵入防止よりも個体数の削減を目的として駆除を強化していきたい。

**再質問** 被害状況の把握のためのアンケート調査について。

農家の方々にとって被害状況はただアンケートによるものではなく、「生の声」を町として聞くべきである。

**答** 農家の方の声を聞くことは、必要なことだと思っている。忙しい中集まってもらうことは難しいと思われるが、いろんな機会を通じて意見を聞かせていただきたい。